

イエス・キリストの系図

ルカによる福音書3章23-38節

2012年2月20日

I概観

- 1、マタイの系図との相違
 - ①マリヤ側の系図
 - ②省略法
 - ③自然と律法
- 2、区分（系図の7人による）
 - ①アダム②ノア③アブラハム④ヤコブ⑤ダビ

IIアダムからアブラハムまで

- 1、アダム
 - ①最初の人：神の子（神の似姿・神の契約）
 - ②原罪③神の契約（原始福音：十字架の救い）
- 2、ノア
 - ①神の選び②洪水③神の契約

IIIヤコブからダビデまで

- 1、ヤコブ：①神の選び②12部族の父③ヨセフによりエジプトへ
- 2、（モーセ・ヨシュア）：①出エジプト②神との契約③カナンへの入国（アブラハム契約）
- 3、ダビデ：①2代目の王②系図の光と影③

IVゾロバベルからヨセフまで

- 1、（ソロモン）：神殿の建設
- 2、ゾロバベル：①王国の分裂②バビロン捕囚③神殿の再建
- 3、ヨセフ：①中間時代（会堂、律法学者、ギリシャ文化）②ローマの支配③終末意識（福音の備え⇒時が満ちて（マルコ1：14-

V適用：系図に見る神の恵み

- 1、歴史の中に現れた救い主
- 2、系図の光と影
- 3、私たちはみな神の子（さかのぼる意味）
⇒神様は人類の歴史を通し、キリストの救いの準備をしてくださった それは、私たちの人生も同様